

# 国際連合との連携による超小型衛星技術に関する博士課程留学生の 受入事業

九州工業大学  
宇宙環境技術ラボラトリー  
施設長 趙 孟佑

この度、本学では、国際連合宇宙部（オーストリア・ウィーン）と共同で、「超小型衛星技術に関する博士課程留学生の受入事業」を実施することとなりました。この事業は、国際連合が進める「基礎宇宙技術推進プログラム」と連携し、発展途上国の学生を本学の博士課程大学院生として受け入れ、超小型衛星技術に関する教育を行うものです。大きさが数 10cm 以下の超小型衛星は、現在世界中で研究開発が進められていますが、教育インフラに乏しい発展途上国の学生に衛星開発の実地教育を施し、より多くの国が参加することによって、人類全体のための宇宙空間の平和的で革新的な利用を促進しようとするものです。

この国連との共同事業は、世界的にはイタリア・トリノ工科大学等のみが現在行っており、我が国では初の試みです。

2011 年秋から、毎年 2 名の学生が入学し、3 年間の博士課程在学中に、本学の超小型衛星試験センターを中心とした宇宙関連研究施設を利用した研究を行います。また、本学が進める衛星開発教育プロジェクトに参加して衛星開発の実際を学ぶと共に、異文化の中での共同作業を学ぶこととなります。

本事業は、ウィーン国際機関日本政府代表部と国際連合宇宙部の間の外交公文書の交換に基づいて実施されます。

参考：九州工業大学超小型衛星試験センター

<http://cent.ele.kyutech.ac.jp/>